

平成27年度 施策評価表

	課・グループ名	都市整備課土木グループ
作成年月日：平成28年9月1日		

施策名	②公園の管理 5-1-②		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	5. 安心して楽しく暮らせる快適な生活環境のまちづくり	(1) みどりあふれる快適な都市環境づくり	②公園の管理
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ● 遊具等を安全に使用できるよう公園施設の改築更新を行います。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市公園は27箇所84.33haが整備されています。うち26箇所は指定管理者により効率的、効果的に管理されていますが、公園施設の老朽化が見られます。 ● 都市公園には、水辺や自然と触れ合える公園、キャンプが出来る公園、パークゴルフ等運動施設を備えた公園があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民が安全・安心に利用出来るよう遊具等の点検、整備、改修が必要となっています。 ● 公園施設長寿命化計画に基づき、遊具等の改築更新が必要とされています。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況							
① 成果指標	設定の意図			まちづくりの成果指標名			数値化
	・現在の都市公園を維持していくため、都市公園設置箇所数を成果指標として設定した。			成果指標 (総合計画・施策評価)			可能
							不可能
				代替指標 ※成果指標がない場合			○ 未計測
				都市公園設置箇所数			○ 可能
						不可能	
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H24	H25	H26	H27	H28	
目 標	箇所	27	27	27	27	27	
実 績	箇所	27	27	27	27		
達成率	%	100.0	100.0	100.0	100.0		
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点	
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)				施策の達成度	都市公園の管理を引き続き指定管理者とする。
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)					
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)				A	
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)					

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類	【必要性】事務事業の必要性	【妥当性】町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施設)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H27)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	実績					H27実績	H28予算	
					単位								
1	公園施設管理事業	(2)	都市整備課	管理不足による施設の不全箇所	0	箇所	遊具等、公園施設の維持管理を効果的、効率的に行うため、都市公園の管理を指定管理者とする。	I	I	1 現状のまま継続	29,800	普通	
					0	箇所					33,865		
2	公園施設改築更新事業	(4)	都市整備課	改築更新公園数	2	箇所	遊具等公園施設の安全性を確保するため、計画的に改築更新を行う。	II	I	1 現状のまま継続	3,942	高い	
					1	箇所					15,110		
3													

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H27事業費	33,742
H28予算	48,975

②H28に実施した新規事務事業

	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H28予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果		理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	事業構成の妥当性 A	・引き続き指定管理者による管理とする。 ・今後も長寿命化計画に基づき計画的に整備を実施するとともに、各公園の状況を確認しながら対応(整備)を実施する。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)		
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)		
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)		

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成29年度以降の予算の方向性	
			A						
			B	1					拡大
			C	2					○ 維持
			D						縮小